

Windows PC を映像・音声制作等に活用する有用なフリーソフト

(1) 「VLC メディアプレーヤー」

<http://jp.downpanda.com/vlc-media-player-19912.html> からダウンロードし導入。

VLC メディアプレーヤーは、OS が WindowsXP、VISTA、7 のどのコンピュータでも、使うことができる「フリーソフト」です。

現在のところ、筆者の持っているいずれの OS のコンピュータでも、他に導入されているソフトウェアに問題を発生させるような「悪さ」はせず、不具合なく動作しています。

(2) スライドショー作成ソフト（複数枚の静止画を BGM を付加してビデオ形式とし、自動的に次々と表示するソフト）

① 「MS Windows Photo Story 3」 <Windows XP のみ対応>

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/using/digitalphotography/photostory/default.mspx> からダウンロードし導入、

② 「Windows Movie Maker」

MS Windows XP に当初から組み込まれている。

ただし、Windows 7 では購入時には導入されておらず、「Windows Live おすすめパック」 <<http://download.live.com/>>をダウンロードし、導入)、

③ 「ビデオマジック basic (Free 版)」

<http://www.muvee.jp/>からダウンロードし導入。

④ 「Photo Flash Maker」

<http://www.photo-flash-maker.com/download.html> からダウンロードし導入。

ただし、作成されるビデオは、Flash ビデオ(ファイルの拡張子は、デフォルトでは、swf で、原則的には、Flash Player というソフトが必要)

⑤PC 購入時に導入されている同機能のソフトを使う（例えば SONY VAIO では、VAIO Movie Story）。

[注意]

「ビデオマジック basic (Free 版)」と「Photo Flash Maker」では、作成されたビデオの最後に、「ビデオマジック basic (Free 版)」等の「クレジット」がデフォルトでは、自動的に入ってしまいますし、やや映像の質が落ちるようです。

しかし、「ビデオマジック basic (Free 版)」では、クレジット及びタイトルについては、画面右下の「パーソナライズ」というボタンをクリックすることによって削除編集等することができます。また、上記の MS Movie Maker を使って、フレームインのような動きのあるクレジット等に変更できます。

また、「Photo Flash Maker」では、「Adobe Flash」等で、同じく削除あるいは編集し直す等すれば良い（ただし、Adobe Flash は比較的高価なソフトで、本文書執筆の趣旨からすると、あまりおススメではあ

りません)。

上記③「ビデオマジック basic (Free 版)」、④「Photo Flash Maker」は、それぞれ Windows VISTA、7でも稼動します (Windows Photo Story 3 あるいは場合によっては、Windows Photo Story 2 は、XPでのみの稼動です)。

(3) ビデオ形式変換

フリーソフト Any video converter を、<http://jp.any-video-converter.com/>からダウンロードし、インストールして使用。

筆者の持っている WindowsXP、VISTA、7のどのコンピュータでも、不具合なく動作しています。

(4) BGM(音楽)作成と midi から wave への形式変換等

BGM (音楽) については、特に「著作権」に注意する必要がありますが (自分で撮った静止画やこれらを組み合わせて作成するビデオは、もとは自分で撮った素材を使うのですから、原則的には、著作権上の問題は、ありません)、著作権の放棄された音楽等を集めた CD-ROM を手に入れ使用するか、あるいは、自分で音楽を作れば問題がありません。後者がオススメです。

後者つまり、作曲用の比較的簡単なソフトとしては、

①Studio ftn Score Editor

<http://studio-arts.bglb.jp/studio-ftn/tn-score-editor/>

や

②Retro Music Editor

<http://download.seesaa.jp/contents/win/sound/soundt/14589/>

があります。

これらも、上記のいくつかのフリーソフトと同様に、WindowsXP、VISTA、7のどのコンピュータでも、使うことができ、現在のところ、筆者の持っているいずれのコンピュータでは、不具合なく動作しています。

なお、①を使って作曲できる音楽は、いわゆる midi 形式です。

したがって、この midi 形式を Windows Media Player で一般的に対応できる、例えば wave 形式に変換すれば、いっそう幅広い活用ができます。

そのための「midi 形式から wave 形式への変換フリーソフト」には、Winamp、

「wave 形式から wma 形式あるいは mp3 への変換フリーソフト」には、Any Audio Converter 同様に、音声の形式変換には、Audacity も有用です。

③Winamp

<http://www.forest.impress.co.jp/lib/pic/music/musicplay/winamp.html>

があります。

ももとは、多機能なプレーヤーですが、メイン画面の「オプション」->「設定」等とたどって、必要な機能を導入 (「プラグイン」とよばれることがあります) すれば、「変換用フリーソフト」として使えます。

設定は、やや複雑ですが、公開されているマニュアルに従って行えば、どなたでも、できます。

なお、詳細については、ここをクリックするか、お問い合わせください。

④Any Audio Converter

<http://www.any-audio-converter.com/> (日本語サイトは、<http://www.any-audio-converter.com/jp/>)

音声ファイルの変換と動画から音声の抽出ができるフリーソフト。音声変換ソフトとしては、様々な DRM 保護のない音声ファイルを MP3、WMA、AAC、OGG、M4A と WAVE に変換することができます。また、動画音声抽出ソフトとしては、様々な動画形式から音声を抽出し、YouTube 動画、Google ビデオとニコニコ動画をダウンロードして音声を出力することもできます。つまり、APE WAVE 変換、RA MP3 変換、M4A MP3 変換などの音声変換ができます。また、AVI、WMV、MP4、MOV、FLV などから音声を出力して、MP3、WMA、AAC、OGG、M4A と WAVE などの形式で保存することもできます。YouTube 動画、ニコニコ動画の音声抽出ができる。

⑤Audacity

http://www.forest.impress.co.jp/lib/dl/a/audacity/audacity-win-1.2.6.exe_dl.html

からダウンロード。

VST プラグインに対応するフリーの非破壊サウンド編集ソフト。非破壊編集のため処理が速く、音声の切り出しやエフェクト処理といった編集内容のアンドゥ・リドゥが無制限なのが特長。WAVE/Ogg Vorbis/AIFF 形式の音声ファイルを読み書きすることができ、MP3 エンコーダー「LAME」をインストールすることで MP3 ファイルにも対応する（下記【関連サイト】参照）。音声ファイルはドラッグ&ドロップで複数同時に読み込むことができ、複数トラックの同時再生のほか指定トラックのみの再生も可能。また、リバーブやノイズ除去といった 19 種類のエフェクトがあらかじめ内蔵されており、エフェクトのパラメータを指定する際に処理後の音声をあらかじめ視聴できる。LADSPA (Linux Audio Developer's Simple Plugin API) や Nyquist プラグインに対応しているほか、作者ページで公開されている「VST Enabler」をインストールすることで、VST プラグインも利用できるようになる。

【関連サイト】 LAME Ain't an MP3 Encoder

<http://lame.sourceforge.net/>

[参考]

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~shinohar/material/kyotsu/sonota/stip1003.pdf>

いずれのソフトウェアも、導入にあたっては、導入する前に、「システムの復元」で、「システム復元ポイントを作成」してから行うことをおすすめします。いずれのソフトウェアの導入および利用にあたって、いかなるトラブルが生じて、私は一切の責任を負いません。

それぞれがご自身の責任で行ってください。

平成 22 年 6 月 21 日

篠原 文陽児